

Sound

住友病院だより【さうんど】

一般財団法人

住友病院

vol. 70

2026 SUMMER

特集

呼吸器内科・外科が協力し
呼吸器疾患に立ち向かう

呼吸器センター

- 新診療部長ご挨拶
- 連携医療機関
みなみ堀江クリニック
大阪心斎橋呼吸器内科・内科クリニック
- New Face
- INFORMATION



ご自由にお持ち帰りください

呼吸器内科・外科が協力し 呼吸器疾患に立ち向かう 呼吸器センター

住友病院の呼吸器センターでは、呼吸器内科・外科が緊密に連携し、多様な呼吸器疾患に対応する体制を整えています。早期肺がんや気胸に対する低侵襲な単孔式手術をはじめ、進行がんへの化学療法、慢性疾患や感染症などで幅広く診療し、患者さま一人ひとりに寄り添った安心の医療をご提供しています。

呼吸器センターとは？

生命維持に不可欠な「呼吸」を担う肺では、成人では1分間に約8リットルの空気が入り出すとともに、約4リットルの血液が流れています。肺は、その入口である気管が二十数回分枝して到達する肺胞において、気相と液相が隣接してガス交換を行うという、他に類を見ない精緻な構造を有する臓器です。このような肺と気道、それに加えてそれを取り囲む胸壁、胸郭などに起こる病気に対応するのが「呼吸器センター」です。当センターは昨年の病棟再編によって、呼吸器内科と呼吸器外科が同じ病棟で診療することになり、お互いの専門性を活かした迅速かつ密な協力が可能な体制を築きました。さらに年内には外来も隣り合わせになるよう再編成する予定であり、より緊密な連携を目指しています。

呼吸器腫瘍や胸膜疾患を呼吸器内科・外科で診療しているほか、単独で、あるいは併存症としてみられることもある呼吸器感染症、喘息やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）等の気道疾患、間質性肺疾患などについても、両科が協力して診療にあたります。いつでも互いに相談できる環境が、複数の疾患を持つ患者さまへも安心で最適な治療の提供を可能にしています。

呼吸器腫瘍

呼吸器腫瘍の多くは肺がんですが、稀に肉腫や悪性リンパ腫、縦隔腫瘍なども発生します。肺がんでは手術の対象となるのは主にステージ1と2の段階です。気管支鏡やCTガイド下生検といった術前検査で診断を確定した上で手術を行うことが原則ですが、腫瘍の場所やサイズによりどうしても確定診断に至らない場合があります。こうした症例に対し、当院の病理医による術中迅速診断も可能です。手術中に採取した検体で迅速に良悪性の診断を下し、そのまま最適な切除へと移行できる体制を整えています。

当院は2011年から胸腔鏡手術へと移行し、2022年からはさらに進化した単孔式手術を導入しました。これは1つの傷口からすべての操作を行う低侵襲な術式です。昨今、広がりを見せるダヴィンチなどによるロボット手術は、緻密な操作に長けているものの、鉗子などを体内に入れるため身体に開ける穴の数が多くなる傾向があります。胸部の

手術では、メスを入れる箇所が増えるほど肋間神経痛という長期的な神経痛を患うリスクが高まります。体内で切除する肺の範囲が同じであれば、傷口を一つに絞る単孔式こそが、術後の痛みを最小限に抑える上で大きな優位性を持つと考え、当院ではステージ1を中心とした早期の患者さまへ単孔式手術を積極的に実施しています。大阪市内でもいち早くこの先進的な術式を導入し、治療実績を重ねています。

一方、ステージ3や4といった進行がん、あるいは手術が難しいと判断された場合には、呼吸器内科による薬物療法や放射線療法が診療の中心を担います。肺がんの領域は、近年最も化学療法の開発と進歩が著しい分野の一つで、多くの新薬や治療法が使用可能となつていきます。とりわけ免疫チェックポイント阻害剤の登場以降、肺がん治療は大きく様変わりしました。近年では、進行がんに対してあらかじめ術前に化学療法を行って

腫瘍を縮小させてから手術を行う手法や、ステージ1であっても術後の再発を防ぐための術後補助化学療法が標準化しています。当院では、外科で手術を終えた患者さまの病期に応じて、スムーズに呼吸器内科へと治療を繋ぎ、最適な抗がん剤投与を継続できる内科と外科の連携体制を確立しています。患者さま一人ひとりの病状に寄り添い、内科・外科が一体となって安心の医療をご提供いたします。



肺の働きって？

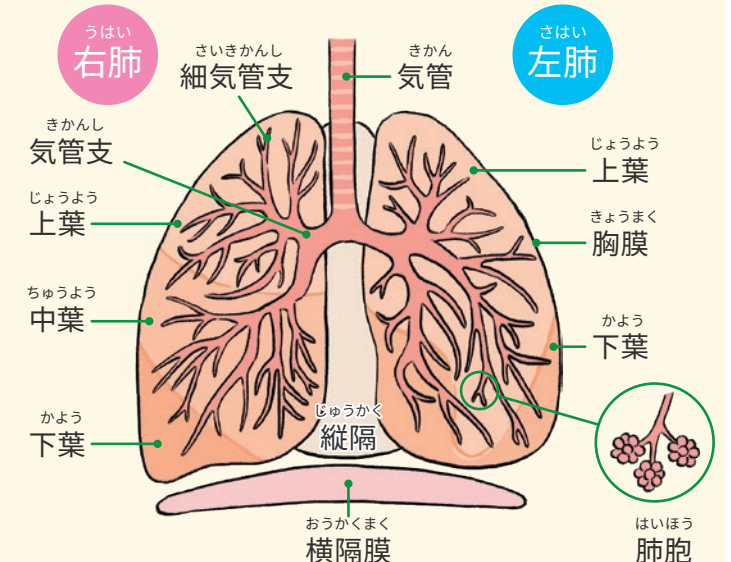
呼吸をつかさどる左右一対の主要な臓器です。空気から酸素を体内に取り込み、不要になった二酸化炭素を排出する「ガス交換」を行っています。

構造と働き

胸の中に左右2つ（右肺と左肺）存在し、右肺が左肺よりもやや大きめです。

ガス交換

吸い込んだ空気は気管・気管支を通り、肺の奥にある「肺胞（はいほう）」という小さな袋に届きます。ここで酸素と二酸化炭素の交換が行われます。



◆縦隔腫瘍

左右の肺と膜で仕切られた心臓や大動脈、気道、食道などが通る体の中心部の空間を縦隔と呼びます。前縦隔、中縦隔、後縦隔に区分されており、場所ごとに生じやすい腫瘍が決まっています。代表的なものとして、**がんではないが悪性腫瘍に分類される胸腺腫や奇形腫、悪性リンパ腫、神経に腫瘍ができる神経鞘腫など良性から悪性まで多種多様**です。肺とは異なる組織ですが、日本の多くの病院ではこの領域全般を呼吸器外科が専門的に担当しています。

治療は手術が中心ですが、**全体の約8〜9割は胸腔鏡を用いて、肺をしぼませた状態で体の横側から、またはみぞおちからアプローチする低侵襲な手術を行っています**。ただし、病気が進行している場合は正面の骨（胸骨）を切ってアプローチすることもあります。

◆呼吸器感染症（肺炎）

肺は常に気道を通して外界にさらされているため、感染症を起こしやすい臓器です。なかでも代表的な疾患である肺炎は、細菌やウイルス、真菌といったさまざまな病原微生物によって引き起こされます。

特に肺に基礎疾患がある方や、全身の免疫機能が低下している患者さまなどは、より多様な病原微生物に感染しやすく、ときに重症化する可能性があるため注意が必要です。そのような患者さま方には、感染症状を自覚された場合には、少しでも早く受診するようにお話しています。**当院では原因菌を突き止める的確な診断に基づき、最適な抗菌薬を選択して治療を行います**。

また、万一重症の呼吸不全に陥った場合には、集中治療室（ICU）やハイケアユニット（HCU）などで人工呼吸器管理を含めた呼吸サポートを行う体制も整えています。

◆気胸

気胸は肺に穴が開き、空気が漏れ出ている状態です。若年の痩せ型の男性などに多い**自然気胸**と、中高年に多くタバコによる肺気腫などが原因の大半を占める**続発性気胸**の2種類に大別されます。

まずは呼吸器内科に入院し、胸にチューブを入れて空気を抜くドレナージによる治療を行います。自然に穴が塞がれば退院となりますが、自然気胸で再発を繰り返す方や空気が漏れが止まらない場合は、外科による手術を行います。当院の気胸手術は、患者さまの身体への負担を最小限に抑えるため、2〜2.5cm程度の傷口を1つ作るだけの**単孔式手術を全例に採用**しています。**術後の痛みが少なく、早期の回復・退院が可能です**。



呼吸器外科 診療部長
はしもと しょうたろう
橋本 章太郎

住友病院 呼吸器内科・外科 主な疾患と治療法

◆喘息・COPD（慢性閉塞性肺疾患）

呼吸器の慢性疾患として代表的な喘息とCOPD。喘息はアレルギー素因などが関与し、後者は主に長年の喫煙習慣が原因で発症します。どちらも気道に炎症が起きるため、治療の基本は気道を広げて炎症を抑える吸入療法になります。進行したCOPDに対しては、鼻から高流量の酸素を投与するハイフローセラピーや、在宅用の人工呼吸器を用いることもあります。喫煙によってこわれた肺胞は再生できないため、禁煙が最も重要です。

当院では、**患者さまの体質や症状に合わせて最適な吸入薬を選択し、正しい使い方までいねいに指導**しています。また近年、吸入薬だけではコントロールが難しい難治性の喘息や、増悪を繰り返す重症のCOPDに対しては、過剰な気道の炎症を抑える生物学的製剤による最新治療を、患者さまの病状に応じて導入しています。

◆間質性肺炎

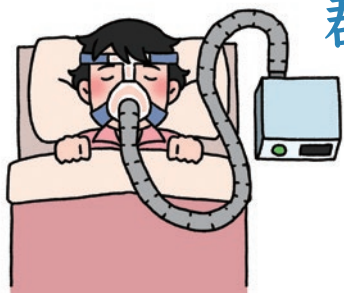
間質性肺炎は、**酸素を取り込む肺胞の壁に炎症や線維化が起こり、肺が硬くなってしまう病気**であり、当院には多くの患者さまが通院されています。原因や背景は実にさまざまで、自己免疫によるものほか、仕事や生活環境でシリカ、アスベストといった無機粉塵やカビなどの有機粉塵を吸い込むことで起きるもの、薬の副作用や放射線治療の影響によるものなど、多岐にわたります。また、これら明確な原因が特定できないものは特発性間質性肺炎と呼ばれます。

原因によって治療薬や管理方針が大きく異なるため、**まずはいねいな問診や検査で病態を正しく特定することが何よりも重要**です。当院の呼吸器内科では、CT検査などの高度な画像診断や、必要に応じて気管支鏡検査や外科的肺生検をもとに適切な診断を下し、患者さま一人ひとりの病態に合わせた最善の治療・管理を行っています。

◆睡眠時無呼吸症候群

睡眠中の無呼吸や激しいびき、日中の強い眠気でお悩みの方は、**睡眠時無呼吸症候群の疑い**があります。当院では外来で行う簡易検査、入院で行う精密検査を通じて、睡眠時無呼吸症候群の診断を行っています。

在宅持続陽圧呼吸（CPAP）療法



治療は重症度に応じて、**減量やマウスピースの作製、中等症以上には在宅持続陽圧呼吸（CPAP）療法を行います**。この病気は脳血管障害や心疾患の重大な危険因子となります。生活習慣病のコントロールとともに、睡眠時無呼吸症候群を治療することが重要です。睡眠時無呼吸症候群は肥満症を背景に発症することが多く、そのような患者さまは内分泌代謝内科と連携して治療薬を使うことが可能となりました。

内科系副院長
兼 呼吸器内科 診療主任部長
兼 診療支援部 部長
兼 診療支援室 室長
兼 がん診療センター

しげまつ みちお
重松 三知夫





連携医療機関のご紹介

住友病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現を目指しています。このコーナーでは、当院の連携医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

医療法人凜青会

みなみ堀江クリニック

診療科目：呼吸器内科、皮膚科、内科、アレルギー科

〒550-0015 大阪市西区南堀江4-10-14
TEL 06-6531-3730



院長 南 和宏 Kazuhiro Minami

●アクセス

Osaka Metro千日前線
「西長堀」駅より徒歩5分



公式ホームページ



大阪市立日吉小学校の前に2023年5月に開院された、みなみ堀江クリニック。南和宏院長は、大阪府や兵庫県の拠点病院において呼吸器診療の第一線で活躍されていました。

▶南院長は呼吸器専門医でいらっしゃいますね。

はい。私は喘息、咳喘息、COPD・肺気腫、睡眠時無呼吸症候群、肺がん、間質性肺炎、気胸など、幅広い呼吸器疾患の診療を行っています。

また、高血圧、脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病をはじめ、風邪・発熱や花粉症など、一般内科領域についても幅広く対応しております。

▶皮膚科にも対応されているんですね。

はい。皮膚科につきましては、皮膚科専門医の女性医師が常勤で診療にあたっています。アトピー性皮膚炎、肌荒れ、手荒れ、できもの（いぼ・ほくろ・粉瘤）など、さまざまな皮膚症状に対応しておりますので、お困りの症状がございましたらお気軽にご相談ください。

▶最後にメッセージをお願いします。

地域の拠点病院からクリニックへと診療の場は変わりましたが、「患者さまに最善の医療を提供できるよう、日々研鑽を重ねる」という私の信念は変わっておりません。些細なことでも構いませんので、気になる症状や健康上のお悩みがございましたら、どうぞ何なりとご相談ください。

大阪の商業の中心地であり、周辺には高級ブランドの店舗が並び心斎橋。大阪心斎橋呼吸器内科・内科クリニックは、そのような都心部に位置しています。

▶心斎橋駅から徒歩1分。繁華街の中で呼吸器内科を診てくれるクリニックは珍しいのではないのでしょうか。

そうですね。周辺には呼吸器内科や一般内科を専門的に診療するクリニックがまだ少ないと感じています。私はこれまで大学病院や地域の中核病院で多くの患者さまと向き合いながら、呼吸器内科を中心とした診療に携わってきました。日常のちょっとした体調の不安から慢性的な症状まで、気軽に相談できる場をご提供したいと考えています。

▶土曜日も19時まで診てくださいます。

都心部ではお仕事帰りに診て欲しい患者さまが多いのと、お休みのときでも落ち着いて来院いただけるように土曜日も19時まで診察しています。

▶メッセージをお願いします。

「ここに来てよかった」と思っていただけよう、丁寧な説明と質の高い医療を心がけ、地域の皆さまに安心して通っていただけるクリニックを目指します。皆さまの健康を支える“身近なかかりつけ医”として精一杯お手伝いさせていただきます。

大阪心斎橋呼吸器内科・内科クリニック

診療科目：呼吸器内科、内科

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-3
心斎橋セントビル5F
TEL 06-4256-2761



院長 鳳山 絢乃 Ayano Toriyama

●アクセス

Osaka Metro御堂筋線
「心斎橋」駅より徒歩1分



公式ホームページ



新 診療部長ご挨拶

今春、6診療科で診療（主任）部長が新しく着任いたしました。



循環器内科 診療主任部長

いずみ まさひろ
和泉 匡洋

1991年に広島大学を卒業後、大阪大学の関連病院で、狭心症・心筋梗塞に対するカテーテル治療を中心に、循環器全般の診療に携わってまいりました。当科は24時間体制で、急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル治療をはじめ、迅速かつ安全で質の高い医療を提供できるよう努めています。また、不整脈の診療にも力を入れており、カテーテル治療件数も増えていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



心臓血管外科 診療主任部長

やまだ あきとし
山田 章貴

1998年に鳥取大学を卒業後、神戸大学の関連病院で研鑽を積んでまいりました。低侵襲心臓手術(MICS)を専門に弁膜症・冠動脈疾患の治療に取り組み、これまで400例以上のMICS手術に携わってきました。当院では、最新の3D内視鏡MICSと冠動脈バイパス術による“全方位MICS”を実践し、「MICSといえば住友病院」と信頼される医療を目指してまいります。



眼科 診療主任部長

しもじょう ひろし
下條 裕史

1999年に大阪大学を卒業後、JCHO大阪病院(旧大阪厚生年金病院)などで臨床経験を積み、大阪大学で主に斜視の研究、臨床を行ってまいりました。現在当院の眼科スタッフは5名で頑張っております。特に斜視および白内障の分野に関しては経験豊富ですのでお困りのことがありましたらご相談いただければ幸いです。今後とも当院眼科をよろしくお願いいたします。



脳神経内科 診療主任部長

しばた ますなり
柴田 益成

1995年に京都大学を卒業後、母校および関西・東海の基幹病院で脳神経疾患の臨床および研究に従事してまいりまして、住友病院には6年前から勤務しています。すべての脳神経疾患の患者さまに対して「最先端でありながら血の通った医療」をお届けすることを目指しております。どうぞよろしくお願いいたします。



呼吸器外科 診療部長

はしもと しょうたろう
橋本 章太郎

2003年に大阪市立大学(現：大阪公立大学)を卒業後、神戸大学病院や他の市中病院に異動することもありながら、当院でのべ19年研鑽を積んでまいりました。高いクオリティかつ低侵襲な手術を追求することのみならず、呼吸器センター長として呼吸器内科と連携を図り、個々の病状に合わせた最善の治療を提供できるよう努めてまいります。



膠原病・リウマチ内科 診療部長

にしおか あき
西岡 亜紀

2003年に兵庫医科大学を卒業し、同大学リウマチ・膠原病科および西宮渡辺病院で20年あまり膠原病診療に携わってまいりました。そして、昨年4月に当院へ着任し、本年4月診療部長を拝命しました。関節リウマチから膠原病全般まで幅広く対応し、地域の先生方と連携して診療のバトンをお繋ぎできる診療科を目指してまいります。

New Face

今年もフレッシュなスタッフが仲間入りしました。どうぞよろしくお願いいたします。

花輪 望未 (はなわ のぞみ)

先輩方・先生方に丁寧にご指導いただき、充実した研修医生活を送っています。多くの知識と技術を吸収して、医師として成長できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

谷澤 慶彦 (たにざわ よしひこ)

指導医の先生方との距離が近く、いつも丁寧に指導してもらっており、研修医として日々成長を感じています。患者さまに信頼されるような一人前の医師を目指して頑張っていきたいです。

西山 莉乃 (にしやま りの)

初期研修が始まり分からないことも多い中、手厚いご指導のもと前進しています。医師としての第一歩を住友病院で踏み出せたことを嬉しく思い、この2年間で多くを吸収し成長していきたいです。

梅比良 裕一 (うめひら ゆういち)

研修医となってから日は浅いですが、優しいスタッフの方ばかりで充実した日々を送っています。皆さまから頼られるような温かい診療を心がけていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



写真 左より 花輪、西山、谷澤、梅比良

INFORMATION

日本臨床腫瘍薬学会より「がん診療病院連携研修病院」に認定されました！

この制度は、当院と地域の薬局が緊密に連携し、がん薬物療法を受ける患者さまを地域全体で支えるためのものです。

当院では、高度な専門知識と技能、豊富な臨床経験を備えた薬局薬剤師の養成に取り組んでいます。研修を修了した薬局薬剤師は、外来化学療法の実施と有効性を高め、地域において患者さまやご家族をトータルサポートすることを目指します。

病院と薬局が情報を共有し連携を深めることで、住み慣れた地域で質の高い医療が受けられる体制を整えています。治療への不安や副作用などの相談にも、身近な薬剤師が分かりやすく丁寧にお答えし、地域全体で皆さまが安心して治療を続けられるよう全力でサポートいたします！



2026年度 市民公開セミナーのご案内

当院では、市民の皆さまに医療に関する理解を深めていただき、健康促進にお役立ていただくことを目的にセミナーを開催しています。参加費は無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

2026年7月現在

開催日	テーマ(仮題)	担当科(予定)
9月7日(月) 14:00~15:00	知っておきたい婦人科がん (子宮頸がん・体がん、卵巣がん、腹膜がん)	婦人科
12月3日(木) 14:00~15:00	もっと知ろう、乳がんのこと	外科
2027年3月4日(木) 14:00~15:00	ロボットよりも低侵襲な肺がん手術 単孔式肺切除術	呼吸器外科



※セミナー開催予定は予告なく変更する場合がございます。スケジュール、最新情報、申し込み方法等詳細は、当院ホームページでご確認ください。

今号の広報誌「Sound」の取材に関しては、マスク着用のうえ実施し、撮影時のみマスクを外して行っています。

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20

TEL.06-6443-1261 (代表)

【受付時間】8:30~11:30、12:30~15:00

“Sound”には、「音」のほかに「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。

住友病院だより「Sound」◎発行人：金倉 譲 ◎編集：細島 研一、北條 由美子、川原 知子、小島 夢輝

「こんなことが知りたい」など、本誌についてのご意見・ご感想を当院ホームページの「お問い合わせ」フォームにぜひお寄せください。よりよい誌面づくりの参考にさせていただきます。住友病院だより【Sound vol.70】2026年7月1日発行



住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。

住友病院

住友病院

検索

